

中臺科技大學より交換留學生が来学しました

本学の学術交流協定先である、台湾の中臺科技大學（CTUST）およびその系列校である新生醫護管理專科學校より、看護学を専攻する学生6名（および引率教員1名）が来学し、7月2日から12日まで10日間の留学プログラムに参加しました。

本学では学内のキャンパスツアー、講義の受講、実験や実習への参加、本学学生たちとの交流などを行いました。また、県内、都内にある医療・福祉関連施設などの訪問・見学も行いました。その様子の一部をご紹介します。

キャンパスツアー



@図書館

@4号棟

▶看護学科の学生たちと

@学生
ホール



講義・レクチャー受講

診療放射線学科



▲本学での学びフローやCTなどの設備、国家試験制度などについてレクチャー

「医療英語」授業

▶台湾での学生生活を英語と日本語で紹介



リハビリテーション学科

(理学療法学専攻)

▶体の痛みをやわらげる「魔法のテープ」（刺さない鍼）を体験！



リハビリテーション学科 (作業療法学専攻)

▶ 実際の器具や道具を使って体験！



看護学科

▼ 看護学科の授業を受講



◀▼ 本学の学生たちと一緒に「笑いヨガ」を体験。
みんなで大笑い！



◀ 中国語版の「母子手帳」も配布されました

▶ 学生同士すぐに打ち解け、仲良くなりました！



実験・実習

臨床工学科

▼ 透析の実験結果にびっくり！

▼ 動物の臓器を観察し、肺に空気が送られるしくみを学習

▼ 人工呼吸器を装着



施設訪問

プログラムの一環として、留学生たちはいくつかの医療・福祉関連施設を訪ね、日本の医療や介護の実状について学習しました。



▲▶病院スタッフから説明を受ける留学生たち



学生交流・教員交流

留学生と本学の学生たちは一緒にランチを食べたり、休み時間や休日に交流を行ったりして過ごしていました。初めは緊張のためかお互いにぎこちないやり取りが続いていましたが、日数を経て次第に打ち解け、楽しそうに名前を呼び合い、一緒に写真を撮る様子なども見られるようになりました。

Welcome Partyの様子



Farewell Partyの様子



▲折り紙を折りながら交流を楽しみました！



▲CTUSTの靖先生と、本学の中谷国際交流研究センター長、風間看護学科長

▶CTUSTの靖先生と、本学の新藤法人事務局長

プレゼンテーション

留学生たちは10日間のプログラムを終え、本学での体験学習や各施設の訪問で気づいたこと、学んだことなどについてプレゼンテーションを行いました。医療施設での患者さんを取り巻く環境、大学の設備や学生の学び方などの面で、台湾と日本との間に様々な違いがあるという点が、学生たちにとっては特に印象深かったようです。



▲最後に本学の中谷国際交流研究センター長より、修了証が授与されました。



今回の留学生受け入れにより、学生同士の交流が活発になったことに加えて両大学の教員間でも、今後の交流や連携のあり方について積極的な意見交換を行うことができました。

▼CTUSTの靖先生と、
本学の新藤学長

▼最終日のFarewell Partyにて



日本医療科学大学では、今後も協定校をはじめとする海外の大学との連携や国際交流活動に力を入れてまいります。